

大阪市港湾局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名称	夢洲 2 区土地造成工事（第 1 工区） 夢洲 2 区土地造成工事（第 2 工区） 夢洲 2 区土地造成工事（第 3 工区）		
会議名称	第 1 回	大阪市港湾局設計・施工技術連絡会議	
開催日時	令和元年 6 月 25 日（火） 10：00～11：00		
開催場所	港湾局第 8 会議室（ATC ビル ITM 棟 10 階）		
出席者 （役職・氏名）	発注者 【港湾局計画整備部保全監理課】 保全監理課長：中川 保全監理課長代理：角屋 設計担当課長代理：小林 担当係長：山本 西川	設計コンサルタント等 【東洋技研コンサルタント（株）】 管理技術者：保智	受注者 【五洋・南海辰村特定建設工事共同企業体】 現場代理人：西口 監理技術者：大月、高橋
議題・議事の内容			
○議題 現地調査（原位置ベーンせん断試験）結果に基づく表層混合処理工の改良厚さ及び敷砂工（2 層目）の施工について			
(1) 原位置ベーンせん断試験結果の報告 【五洋・南海辰村特定建設工事共同企業体】 原位置ベーンせん断試験結果の報告			
(2) 原位置ベーンせん断試験結果に基づく表層混合処理工の改良厚さについて 【港湾局計画整備部保全監理課】 原位置ベーンせん断試験結果によるとせん断強度が設計時より大きい結果と判断できる。 それに伴い表層混合処理工の改良厚さを設計 2.0m から 1.5m 及び荷重分散のために施工する敷砂及び盛砂を設計 1.5m（敷砂 0.5m＋盛砂 1.0m）から 1.0m（敷砂 0.5m＋盛砂 0.5m）に変更したい。また、設計時には地表面付近のせん断強度で設計を行っていたが、表層混合処理工の設計に入力するせん断強度は固化盤下面の強度が重要であるため、設計に用いるせん断強度の値を地表面から固化盤下面位置に設計の考え方を変更したい。			
【東洋技研コンサルタント（株）】 表層混合処理工の設計で検討している表層混合処理工固化盤の曲げ応力、せん断応力及びめり込み量を満足しているのであれば問題ない。 設計に用いるせん断強度の考え方は固化盤下面の強度が重要であるため問題ない。			
【五洋・南海辰村特定建設工事共同企業体】 表層混合処理工の改良厚さを設計 2.0m から 1.5m に変更すること及び荷重分散のために施工する敷砂及び盛砂を設計 1.5m（敷砂 0.5m＋盛砂 1.0m）から 1.0m（敷砂 0.5m＋盛砂 0.5m）に変更することについて、原位置ベーンせん断試験結果に基づく深度とせん断強度の中央値から求められていますが、試験値のばらつきが考慮されておりません。本工事は工期厳守の考え方からトラブルを起こせないことが前提であり、対象が浚渫土であることを踏まえ、試験値の最低値でのチェック等をもとに施工可能かを判断する必要もあると考えます。			
【港湾局計画整備部保全監理課】 原位置ベーンせん断試験結果の最低値を考慮して検討したが、表層混合処理工固化盤の曲げ応力、せん断応力及びめり込み量を満足しているため、問題ないと考えている。			

【五洋・南海辰村特定建設工事共同企業体】

検討結果が満足しているのであれば、表層混合処理工の改良厚さを設計 2.0m から 1.5m に変更すること及び荷重分散のために施工する敷砂及び盛砂を設計 1.5m（敷砂 0.5m＋盛砂 1.0m）から 1.0m（敷砂 0.5m＋盛砂 0.5m）に変更することについて、指示された条件での施工は可能です。

固化盤下面での深度の現地調査結果を用いたせん断強度を設計に用いることに関して、ご指示通りの設計仕様にて施工いたします。

○その他

【港湾局計画整備部保全監理課】

今後について、本日の議事を踏まえて変更を行う。

以上